

第75回国民体育大会冬季大会栃木県選手団成績概況

大会日程

競技会	会期	日数	会場
スケート (スピード)	令和2年1月30日 (木) ~ 2月2日 (日)	4日間	青森県八戸市
スケート (ショートトラック)	令和2年2月1日 (土) ~ 2月2日 (日)	2日間	青森県三沢市
スケート (フィギュア)	令和2年1月29日 (水) ~ 2月1日 (土)	4日間	青森県三沢市
アイスホッケー	令和2年1月29日 (水) ~ 2月2日 (日)	5日間	青森県八戸市・南部町
スキー	令和2年2月16日 (日) ~ 2月19日 (水)	4日間	富山県富山市・南砺市

総合成績

() は昨年

	競技得点	参加点	合計得点	総合順位
天皇杯	61点 (59点)	30点 (30点)	91点 (89点)	19位 (19位)
皇后杯	0点 (0点)	20点 (20点)	20点 (20点)	30位 (28位)

各競技会成績

() は昨年

競技会	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子	参加点	総合成績			
						天皇杯	順位	皇后杯	順位
スケート	14点 (0点)	0点 (0点)	0点 (0点)	0点 (0点)	10点 (10点)	24点 (10点)	23位 (31位)	10点 (10点)	25位 (25位)
アイスホッケー	30点 (20点)	-	10点 (35点)	-	10点 (10点)	50点 (65点)	4位 (3位)	-	-
スキー	0点 (0点)	0点 (0点)	7点 (4点)	0点 (0点)	10点 (10点)	17点 (14点)	15位 (17位)	10点 (10点)	18位 (18位)

入賞者一覧

競技会	種目	種別	氏名	順位	競技得点
スケート	スピードスケート	成年男子	川目拓磨	1位	8点
スケート	ショートトラック	成年男子	河合健郎	3位	6点
アイスホッケー		成年男子	栃木県選抜	3位	35点
アイスホッケー		少年男子	日光明峰高校	7位	20点
スキー	ジャイアントスラローム	少年男子	君島王羅	2位	4点

5カ年競技成績比較

競技会	第71回大会	第72回大会	第73回大会	第74回大会	第75回大会
スケート	12点	19点	10点	10点	24点
アイスホッケー	70点	55点	45点	65点	50点
スキー	10点	15点	10点	14点	17点
天皇杯得点・順位	90点 18位	89点 18位	65点 20位	89点 19位	91点 19位
皇后杯得点・順位	20点 27位	20点 26位	20点 25位	20点 28位	20点 30位

第77回 国民体育大会 夢を感動へ。感動を未来へ。2022

■スケート・アイスホッケー競技会



指定証授与式



指定証授与式選手宣誓



現地激励会

スピードスケート(成年男子)第1位
川目拓磨選手ショートトラック(成年男子)第3位
河合健郎選手

アイスホッケー(少年男子)

■スキー競技会



アイスホッケー競技会総合第4位



開始式



現地激励会



クロスカントリー(成年男子C)

ジャイアントスラローム(少年男子)第2位
君島王羅選手

栃木県選手団 集合写真

冬季大会総括

【スピードスケート】

スポーツ専門員である川目拓磨選手(栃木県体育協会)が成年男子500mを制覇し、7大会ぶりの優勝者となった。

【フィギュア】

成年女子・少年女子ともに予選会を突破し、本戦出場を果たした。少年女子は進むことができなかったが、成年女子の小室笑凜選手(早稲田大学1年)がフリースケーティングに進むことができた。今後の更なる成長を期待したい。

【ショートトラック】

スポーツ専門員である河合健郎選手(栃木県体育協会)が成年男子500mにおいて3位に入賞し、ショートトラック競技では初の表彰台に登った。

【アイスホッケー】

成年男子(栃木県選抜)においては、前回大会の少年男子第2位のメンバーが加わり、若手とベテランのバランスのとれたチームで出場した。準々決勝では開催県である青森県に僅差で勝利し、準決勝では大学生でチーム編成された東京都に惜敗した。順位決定戦では、埼玉県とペナルティーショットまでもつれ込みながらも勝利し、3位入賞を果たした。前回大会第2位の少年男子(日光明峰高校)は、初戦の東京都に惜敗し、順位決定戦では開催県である青森県に大敗したが、福岡県に大勝利7位入賞を果たした。

【クロスカントリー】

各選手が全力で競技に挑んだが、上位選手との力の差は大きく、残念ながら入賞者を出すには至らなかった。また、成年女子においてはここ数年に亘って参加選手がいなかったことから、普及・強化に加え、参加選手の確保も必要と思われる。

【ジャイアントスラローム】

少年男子の君島王羅選手(足利大学附属高校2年)が2位入賞を果たし、少年としては初の表彰台となり、期待通りの活躍を見せた。さらに、少年女子においても横尾彩乃選手(足利大学附属高校1年)が15位となり、第1シードを獲得した。

また、少年女子の松田弥咲妃選手(野崎中学校3年)や成年男子Aの手塚芳宗選手(日本大学3年)、成年男子Cの三井田雄太選手(全国銀行協会)がそれぞれの種別で第2シードを獲得し、今後の活躍が期待できる結果となった。